

Let's Change the World  
(世界を変えよう！)

P.06

1992年、リオの地球サミットで若い少女が行ったスピーチは大きな反響を呼んだ。

【文章構造:S+V+O】

a speech by a young girl made a great sensation.

S V O

『SはOをVする』という構文。動作の対象となるO(目的語)が必要となる。

スピーチの中で、その少女はそこに出席した世界の指導者たちに、環境保護と世界平和を訴えた。

【文章構造:S+V】

In her speech, the girl appealed to the world leaders there ~

S V

『SはVする』という構文。本文のように、長く複雑そうに見える文章でもS+Vという単純な構造から成り立つこともある。

彼女は、私たちは環境破壊やお互いに争うことをやめるべきだといった。

その少女は誰だったのか？

彼女は、セバーン・クリス鈴木で、12歳のカナダ人だった。

セバーンは、子供たちの小さなグループである Environmental Children's Organization (ECO) のメンバーだった。

そのグループのメンバーたちは環境問題について学んでいて、またほかの子供たちにそれらについて教えていた。

彼女は地球サミットについて聞くと、彼女とその友達たちはお金を集めてリオを訪れた。

【WORDS】

summit	〔名詞〕	サミット
Rio	〔固有名詞〕	リオ
Sensation	〔名詞〕	反響
Make a great sensation	〔熟語〕	大きな反響を呼んだ
appeal	〔動詞〕	訴える
environmental	〔形容詞〕	環境の
protection	〔名詞〕	保護
destroy	〔動詞〕	破壊する
each other	〔熟語〕	お互いに
Severn Cullis-Suzuki	〔固有名詞〕	セバーン・クリス鈴木
Canadian	〔名詞〕	カナダ人
hear about...	〔熟語〕	…について詳しく聞く